

2025年11月28日
サンデン株式会社

サンデンフォレストが SEGES「緑の殿堂」認定を更新 ～ 自然環境保全と生態系維持の取り組みが継続評価 ～

2025年11月10日、サンデン株式会社(本社:群馬県伊勢崎市、以下、当社)の赤城事業所サンデンフォレスト(群馬県前橋市)は、公益財団法人都市緑化機構が運営する SEGES(Social and Environmental Green Evaluation System:社会・環境貢献緑地評価システム)の「そだてる緑」シリーズにおいて、最高位「緑の殿堂」認定を更新しました。

今回の更新は、下記の点が高く評価されたものです。

- ・在来種の保全や生態系への配慮を重視した継続的な緑地づくり
- ・全敷地の半分を工場緑地とした企業緑地として質・量ともに高い水準の維持
- ・モニタリング調査の効率化・適格化を図る指標調査の学術的価値の高さ

この認定は、企業が持続可能な社会づくりに貢献し、地域と共生する価値を示す重要な証であり、当社のサステナビリティ経営を支える取り組みとして位置づけられています。

認定授与式は東京大学にて開催され、新規認定、更新を含む13企業が参加し、SEGES認定企業4社による事例紹介も行われました。当社からは代表社員がサンデンフォレストの取り組み事例を紹介しました。

当社は今後も長期的な自然保全活動を通じて、サステナビリティ経営と社会的責任の遂行に取り組んでまいります。



サンデンフォレスト



右:認定賞を当社代表で授与する当社社員

● SEGESについて

SEGESは、企業等により創出された良好な緑地と、その維持と発展に向けた日頃の取り組みが、社会や環境に貢献していることを評価・認定する制度です。

「そだてる緑」「都市のオアシス」「つくる緑」の3シリーズがあり、このうち「そだてる緑」は、民間の事業者が所有する300㎡以上の緑地における優良な保全・創出活動を認定します。「そだてる緑」では、5段階のステージ最上位である「Superlative Stage」を3回連続で更新した緑地が「緑の殿堂」の審査対象となります。

「緑の殿堂」認定と更新のイメージ



● 全体会議での事例発表

当日は認定授与式その他、SEGES認定企業による事例発表が行われました。サンデンからは代表社員が登壇し、緑地育成の取り組みや、行政や地域学校との連携による体験学習の事例を紹介しました。

当社社員は講演の中で、「体験学習では教科を横断した学びが可能で、知識だけでなく“つながり”や“概念”を伝えることが重要」と述べました。また、会場では野生動物への対応策に関する質問も寄せられるなど、活発な意見交換が行われました。



当社社員による事例紹介



質疑応答に答える当社社員

● サンデンフォレストについて

サンデンフォレストは2002年に「環境と産業の矛盾なき共存」をコンセプトに群馬県の赤城山南麓に近自然工法を用いて開設されました。敷地の半分が工場、残りを森林や緑地とした「森の中の工場」です。

サンデンフォレストは、里山の自然再生を目指し植林や水辺環境の整備を進めています。全長4kmの散策道や環境学習施設を整備し、学校や市民団体に広く活用されています。また、1998年からモニタリング調査を継続し、生物多様性の保全や環境教育に取り組んでいます。年間8,000名が訪れ、自然体験の場としても機能しています。



モニタリング調査:センサー取り付けの様子



竹林整備イベントたけのこクラブ

■ 開催概要

- ・開催日:2025年11月10日
第一部 SEGES認定証授与式、第二部 SEGES全体会議「みどりの認定とまちづくり」
- ・場所:東京大学農学部弥生講堂一条ホール

[参考リンク]

- ・SEGES公式サイト:<https://seges.jp/>
- ・サンデンフォレスト:<https://www.sandenforest.com/>

本件に対するお問い合わせ

サンデン株式会社 総務本部 広報・IR 担当

Tel : 03-5828-5582 Mail : sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com Web : <https://www.sanden.co.jp/>